

J A 松任青年部 YOUTH SITE



〔JA松任青年部施設見学研修会〕

〔企画部〕



7月11日(土)に、JR金沢駅構内にあるAガイヤの見学及びジャコム石川の店舗運営部長の三輪一夫氏によるAガイヤの事業概要についての講演を開催しました。

今年の企画部会の中で話し合った結果、新幹線開業にあわせて開店したAガイヤ施設見学会でまとめられました。

約30名の盟友が参加し、JR北陸線で金沢駅へ。盟友の方々もほとんど電車に乗ることがないので、久しぶりの電車にやや興奮気味。金沢駅の改札口に集合したところで、まずはAガイヤへ。全国の野菜が並ぶなか、太きゅうり、金時草などの加賀野菜が目につきました。また、JA百選として地元でしか買えなかった県内JAの加工品を取りそろえていました。他地区のJAの商品はなかなか見る機会がなく、とてもいい機会となりました。

その後、場所をホテル金沢に移し、ジャコム石川の店舗運営部長の三輪一夫氏によるAガイヤについての講演会を行いました。

県産農産物と加工品についていろいろと、金沢駅での出店とついで、お土産品として



持ち帰れる大きさに工夫していること、毎月JA・生産者の協力を得ながら試食会などを行っていることなど、物を売る工夫、努力を話して頂きとても勉強になりました。

〔山島夏まつりのシンボル・松明をつくる！〕

〔山島地区青年部〕



7月12日(日)、7月26日(日)、例年通り山島夏まつりのシンボルである大・中2基の松明作成を行いました。

朝から暑すぎるくらいにの好天にも恵まれ、参加した盟友約40名と青年部OB等30名で、各作業部隊に分かれて汗を流しました。初日は、盟友自らが昨年から栽培し、6月に刈り取りした菜種を乾燥させていたハウスの中に入って、汗だくになりながら菜種を

回収し、その菜種を一つ一つ編みこんで、骨組にまきつけました。そして、2日目の飾付作業などの仕上げを行い、山島青年部の熱い思いがこもった太い松明の完成にこぎつけました。作業の昼食には青年部OBの方々にはやきそばなどを作っていただき、OBの思いがさらに後押しし、青年部全体が山島夏まつりに向けて気を引き締めました。

この太い松明のように、盟友同士の絆もより太くなった松明づくりでした。そしてこの松明で山島地区の全町内を練り歩き、地区の皆さんの心に残る夏まつりになるように頑張りました!!





手作り看板の作成に命をかけている中央支部は、今年もRYO画伯(営農課・作田涼さん)の指示のもと最高の作品を作るべく、盟友みんなの力を結集させて取り組みました。今年は、下書き・色塗り・仕上げを一日で行い、例年以上に素晴らしい作品が完成！今年も全国大会を狙えるような作品が出来ました。

〔各支部手作り看板作成〕

〔中央支部青年部〕



〔北星支部青年部〕
7月18日(土)、北星支店にて看板作成を行いました。当日は、支部盟友約10名が参加し、先週下書きを済ませていたものに彩色をしました。作業を行った日は日差しが強く、とても暑い日でしたが、み

んな汗を拭いながらも集中し、協力し合うことにより、短時間で看板を完成させることが出来ました。作業中も笑い声が飛び交い、盟友同士の親睦も深めることが出来ました。

〔西南支部青年部〕

7月5日(日)、西南支店準低温倉庫において、西南支部の各地区の青年部が活動していることを地域の皆様にわかって頂けるような看板を作成しようと思ひ、各地区から盟友を集い9名で看板を作成しました。

みなさん仕事も忙しくなかなか集まらないので、下書きから色塗りまで勢いに乗り一気に仕上げました。ややこしいことはせず、白地に野菜を際立たせ、直球勝負です！

作業中はそれぞれの地区活動を聞き

あったり、盟友が同年代ということもあって学生時代の話で盛り上がりたりと、さらながら同窓会のように盛り上がり、盟友同士の親睦を深めることができました。



〔松南支部青年部〕
6月7日(日)の午後、松南支店米倉庫において毎年恒例の支部間交流「看板づくり&親睦バーベキュー」を行いました。事前に開いた役員会の際、今年の看板は今までと作成方法を変更し、ペンキのムラを無くすために、下地を全面白色で塗ることにしました。

その作業を行うために、あらかじめ一週間前の林中青年部のポン菓子作成作業の際に、林中・山島のそれぞれの盟友が看板の下地を白色に塗る作業と、下地に鉛筆で下書きする作業を併せて行いました。それにより、当日はペンキもムラなく塗ることができ、スムーズに看板を作成することができました。

この日は、午前本部行事のソフトボール大会があったため、みんなクタクタの中の作業でしたが、バーベキューをしながらの作業で林中・山島の盟友一同の親睦を深めることができました。

